

レビュー項目 (事業名)	特別支援学校における通学環境の改善				部(局)	教育委員会			
					所管課	特別支援教育課			
					担当班	整備班			
					連絡先	078-362-9372			
開始年度	令和6年度	終了年度	—	関連計画等	—				
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県			
事業目的	特別支援学校のスクールバス運行において、「特別支援学校通学支援検討委員会」からの提言を受け、運行基準の見直し等を行い、児童生徒や保護者等の負担軽減を図る。 ■特別支援学校通学支援検討委員会からの提言概要 ・スクールバスの長時間乗車の解消に向けて、最長乗車時間の全国平均(78分)以下を目安とした目標設定が求められる。 ・バス停で待つ児童生徒や保護者の負担軽減に向けて、交通渋滞等の遅延情報をタイムリーに情報提供することが求められる。								
事業概要	特別支援学校のスクールバスにおける長時間乗車の改善や児童生徒及び保護者の負担を軽減するため、運行基準等の見直しを行い、スクールバスの増車等を実施する。 (1) 最長乗車時間の引き下げ(90分→75分) ・スクールバスの増車(いなみ野、姫路しらさぎ、西はりま、出石、のじごく) ・高速道路の利用(姫路) (2) スクールバスの位置情報確認サービスの導入 ・交通渋滞等の遅延情報のタイムリーな提供								
令和6年度 当初予算	122,355千円	(国庫)	0千円	(特定)	0千円	(起債)	41,600千円	(一般)	80,755千円
評価	指標名	5年度 見込	6年度 目標	7年度 目標	最終目標 【年度】	設定の考え方			
	成果指標(アウトカム指標①)					R5実施アンケート時、長時間乗車及び遅延関係(遅延情報の提供)について「不満」「やや不満」と回答した者が、「満足」「やや満足」に転ずることを目標として設定			
	スクールバス運行に係るアンケート調査において「満足」、「やや満足」と回答した割合	82%	90%以上	90%以上	90%以上	【R5アンケート結果】 ・満足、やや満足 1,346人 ・不満、やや不満 291人 ・うち長時間乗車及び遅延に不満 123人 全体 1,637人 長時間乗車及び遅延情報の提供に不満の者が満足に転じた場合 (1,346人+123人)/1,637人=約90%			
	成果指標(アウトカム指標②)								
	成果指標(アウトカム指標③)								
	活動指標(アウトプット指標①)					【設定の考え方】 長時間乗車による児童生徒の負担軽減のため、最長乗車時間を短縮 【目標数値の考え方】 検討委員会提言をもとに全国平均(78分)以下となるよう目標を設定			
	スクールバス運行校における最長乗車時間	90分	75分	75分	75分				
	活動指標(アウトプット指標②)					【設定の考え方】 バスを待つ児童生徒等の負担軽減のため、位置情報確認サービスを導入 【目標数値の考え方】 全校での導入を目標として設定			
	スクールバス運行校における位置情報確認サービスの導入率	0%	100%	100%	100%				
	活動指標(アウトプット指標③)								
終期設定	有・ 無 (下記改善基準に基づき見直しを検討)								
改善基準	スクールバス運行における満足度等が、3年連続で前年度を下回った場合、見直しを検討する。								
意外部 委員 見会	・本事業の対象校に対して、施策が効果的であったかを図るアウトカム指標を追加してはどうか。								
見直し結果									